

一般質問

市政全般にわたり20名の議員が質問しました。



初期消火は市民の手で！ 地域防災力強化について

長瀬 未紗議員《会派に属さない議員》

大規模災害時に、同時多発的に火災が起きた場合や道路が不通となり消防隊が到着できない場合に備えて、市民が初期消火をできるように、訓練や環境整備が必要と考えます。消火器も初期消火には有効ですが、火が大きくなり消火器で消せない場合、消火栓を使って水道管からホースをつないで消火活動をする必要があります。本市には消防職員手作りのホース格納箱が市内の至るところにあることから、市民が消火栓を使って消火活動を行うことへの見解を伺います。また、スタンドパイプを使うと水圧が下がり、女性や高齢者も扱いやすくな

ると言われており、要望のある自治会や自主防災組織に、訓練をした上でスタンドパイプ式消火器具を配備することについて、見解を伺います。
市長室長 スタンドパイプ式消火器具は、消火に関する知識をはじめ、操法練度の高い者が地域に所在し、常に消火対応ができる環境が整った上で、地域特性を踏まえて必要とする地域に配備することが有効であると考えます。
消防長 自治会や自主防災組織などが消火栓の取扱訓練を実施し、操作方法などを熟知すれば、消防隊が到着するまでの消火活動は有効であると考えます。



水道スマートメーターの導入について

高波 貴志議員《自民党・いさま》

水道スマートメーターは、検針業務の削減や漏水管理、水量・水質管理の向上など多くの利点があると言われており、導入に向けた実証実験を行う自治体が増えていきます。水道スマートメーターの導入について、どのような見解をお持ちなのか伺います。
上下水道局長 水道スマートメーターは、水道水の使用水量を遠隔で自動検針できる通信機能つきのメーターです。通常は検針員が戸別訪問により行っている確認作業を自動で行い、データ収集ができることから、業務の合理化を図れるだけでなく、漏水の早期発見も期待できるなど、全国

の水道事業者で注目されています。しかし、現行のメーターと費用面で比較すると約10倍の価格であることや通信機器を全てのスマートメーターに設置する必要があることから、設置場所の確保が新たに必要なことや通信費用が別途発生するなど、普及拡大に向けた課題も明らかになっていきます。今後、他市の事業者から有用な情報が全国に向けて発信され、諸課題の解決に取り組むことも考えられるので、その情報に注目しながら、国や県、さらには県内の他水道事業者の情報収集に努め、検討に向けた準備を進めたいと考えます。



ミネラル・オーガニック給食の導入について

須崎 友康議員《会派に属さない議員》

農産物検査センターが行った調査で、学校給食パン14製品のうち12製品から、実際に研究機関が恐らく発がん性がある農薬と分類するグリホサートが検出されました。子供たちを農薬による健康被害から守り、自然環境に配慮して、全ての生き物と共存共栄するために、ミネラル・オーガニック給食を導入することについて見解を伺います。

教育部長 ミネラル・オーガニック給食を導入することも食の教育として有効と考えますが、食材の価格が高いため、保護者に新たな負担が生じる可能性があります。また、学校給食用としての食材の流



空き家の利活用について

熊切 和人議員《自民党・いさま》

先日のまちづくり懇談会では、「高齢者が集まれる場所を」との声が寄せられています。市長も市議会議員時代に、空き家の固定資産税を減免して、フリースクールや地域サロン、子育てサロンなどに空き家を有効活用することについて質問をされており、私も空き家を活用して高齢者が集える居場所づくりができないかと考えますが、見解を伺います。加えて、空き家バンク制度を策定することで高齢者の居場所づくりにつながると考えられることから、制度を策定していただきたいと考えますが、見解を伺います。

中にも空き家等対策計画を策定するために現在、座間市空き家等対策協議会の設置に向けて準備を進めています。空き家を利用した高齢者の居場所づくりや空き家バンク制度は、市民生活に悪影響を及ぼす可能性のある空き家問題の解消や地域活性化の観点からも大変有効であると考えています。まずは空き家の実態調査や所有者等への意識調査の結果を踏まえて、座間市空き家等対策協議会で協議をした上で本市の実態に即した空き家等対策計画を策定し、空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に推進していききたいと考えています。



立野台コミュニティセンターの維持管理について

立野台 康彦議員《自民党・いさま》

立野台コミュニティセンターは、市内で最初に開館した最も古いコミュニティセンターです。開館から33年が経過して、至るところで経年劣化が進んでいることや利用者がほかのコミュニティセンターよりも多いため、トイレは数年前から、悪臭がする、洋式トイレが少ない、きれいなトイレにしてほしいなどのクレームが多く寄せられており、懸案となっております。市民からの切実な要望等を勘案し、利用者が不快に感じるトイレの改善は、大規模改修を待たずに早期に行うべきであると感じますが、当局の見解を伺います。

市民部長 日頃からコミュニティセンター管理運営委員会や職員の皆様のご尽力により快適に利用できる施設が維持されていることは承知しています。施設修繕については、各コミュニティセンター管理運営委員会から要望を聞き取り、施設修繕料を予算化して対応してはいますが、限られた予算の中で修繕等を実施するため、要望があっても対応できていない箇所もあります。しかし、トイレの悪臭については、利用者の方に不快感を与えるものであり、早急に改善が必要だと考えますので、まずは応急処置を含めて対応について検討していきます。



子ども事故防止のために 一歩進んだ対策を

内藤 幸男議員《自民党・いさま》

子ども事故への対応については、現在本市の保育士等に向けた啓発・指導として、保育園で起きた事故の傾向を分析し、各園で情報共有することや保育士のエキスパート研修を実施しているとのことであり、非常に丁寧な取組を行っていると感じますが、これに加えて、2015年2月に吉川慎之介記念基金によって開設された子ども安全管理士という資格認定講座を受講することを提案します。この講座は、現在までに全国の保育園や幼稚園、教育関係者などを中心に非常に多くの方が受講しています。また、愛媛県

子ども安全管理士という資格認定講座を受講することを提案します。この講座は、現在までに全国の保育園や幼稚園、教育関係者などを中心に非常に多くの方が受講しています。また、愛媛県

会議録をご覧ください

座間市議会だよりでは、各議員の文責により質疑・質問・答弁・討論の発言の一部を抜粋して掲載しています。詳細は会議録をご覧ください。パソコンやスマートフォンから市議会のホームページをご覧ください。また、市役所1階の市民情報コーナー、図書館でもご覧いただけます。なお、6月定例会の会議録は8月下旬ごろから閲覧できます。